

子どもの貧困解決に向けた 東京スター銀行の取組み



東京スター銀行スター銀行の マテリアリティ



社会への貢献

社会への貢献

CSRの基本方針

次世代を担う
人材の育成

ダイバーシティの
推進と働きやすい
職場環境の提供

持続可能な社会の実現のため、役職員によるさまざまな活動を行い、お客さま、地域社会、地球環境などへ貢献するとともに、役職員が生き生きと働き、よりお客さまと社会の役に立ち、社会とともに持続的に成長する会社となることを目指しています。



全てのお客様に満足いただける銀行を目指す

環境に配慮した取り組み

行員へのボランティア・チャリティ紹介

次世代を担う人材の育成



当行は、未来の社会がより豊かなものとなることを目指して、次世代を担う若者や子どもが、将来、希望を持って自立した人生を歩んでいけるよう、貧困・虐待などの社会課題解決に向けた活動を行っています。



東京スター 子ども応援プロジェクト



施設・NPOでの「お金のスタートレーニング」



子ども虐待防止「オレンジリボン・キャンペーン」

東京スター 子ども応援プロジェクト

子ども食堂への活動資金支援

- 子どもの貧困への関心が各地で高まる中、温かい居場所づくりを推進する子ども食堂が全国で広がる。
- 一方で、運営に寄付や助成金以外の持ち出し費用が発生するなど、資金面での運営の維持の難しさも明らかに。

- 子ども食堂・フードパントリー等の活動を行う団体10拠点への活動資金を寄付
- コロナの影響で、食糧配布、フードパントリーなどの活動が多くなっている
- 銀行のコンプライアンス意識を活かし、「安心・安全プログラム」を提供。子ども食堂での子どもを中心とした安心・安全を守るための一助とした。

見通しを。あなたの人生に。

東京スター
子ども応援
プロジェクト

子ども 食堂への 活動資金支援

東京スター銀行は、
子ども達の成長環境が温かく、豊かなものになるよう、
居場所・交流拠点づくりを地域で推進する
子ども食堂を支援しています。

小岩支店 ファイナンシャル・ラウンジは
ぬくもりスペース『NUKUNUKU』
(江戸川区豊登)
を支援しています。

TOKYO STAR BANK 東京スター銀行

※支店に掲載するポスターの例

東京スター 子ども応援プロジェクト

シングルマザーのための就労支援

- 日本のシングルマザーは、就労率が約8割と高い水準にあるにも関わらず、就労収入が低く、貧困率は約5割
- 雇用形態や収入の男女格差などの影響など様々な要因

- 対象を全国として、全講座オンラインでの実施とした
- シングルマザーの生活を安定させたいと考え、企業におけるキャリアアップを目指す全国のシングルマザーが対象（定員30名）
- 公開講座で単発の受講者も募集
- 生活と就労に関する講座、カウンセリングを半年間で実施

明日に花咲く

東京スター 子ども応援プロジェクト TOKYO STAR BANK × single mothers For You

シングルマザーのための
オンライン
ライフ & キャリア
支援プログラム
第3期生 募集要項

現在子育て中のシングルマザー・プレシングルマザーの方が、お子さんとともに、より安定した生活を送ることができるよう、生活を支える知識を学び、キャリアプランを立て、キャリアアップを目指すための講座です。

プログラム 特長

- シングルマザーの方の生活で役立つお金や子育て、法律について学べます。
- キャリアアップを目指す方が仲間とともに成長し、本来の自分を発揮し、より良い未来を実現することを応援します。

プログラム 概要

内 容：ライフ講座 / 離婚に関する法律、ライフプラン、子育て等
キャリア講座 / ビジネスマナー、職場のコミュニケーション、キャリアデザイン等
実施方法：Zoomを利用したオンライン
講座期間：2021年9月～2022年1月(全9回 隔週)
募集締切：2021年8月7日(土)

プログラム 応募条件

- 自分のキャリアを見直し、企業におけるキャリアアップを目指す方
- シングルマザーの方(未子が18歳未満)
- ※加齢中および未婚の方で、要項を別としている方も含みます。

参加方法

- プログラム受講生：30名程度
全講座のうち7講座以上の受講を希望する方
プログラム受講生同士で交流する機会があります。
- 公開講座受講生：20-30名程度
特定の講座のみ参加を希望する方

※プログラムのチラシ 6

東京スター 子ども応援プロジェクト

社会的養護施設出身者等への奨学金

- 社会的養護の進学率は、高校卒業生全体と比べて大きな格差があり、中退率も高い。
- 進学費用の不足だけでなく、心理・生活上の不安定が通学や卒業を困難にしている現状。

- 2019～2020年：毎年7名×最大4年間（最大200万円）
- 2021年：30名×1年間（2万円/月 7・12月のみ5万円 計30万円）
 - 金銭管理をすることで、次月の奨学金を受け取れる仕組みで、金銭管理教育を強化
- 児童養護施設、里親家庭等、社会的養護の出身対象
- ボランティアが月1回奨学生と会い、話を聞くメンター制度あり
- 金銭教育や、収支計画を提出してもらい、金銭管理を見守り

明日を描く、
奨学金。

Bridge for Smile
& Tokyo Star Bank

新しくなりました！

東京スター銀行奨学金 
～お金を管理する力をつける金トシ奨学金～

第三期生募集要項
SCHOLARSHIP 2022

この奨学金は、児童養護施設出身者等を対象に、東京スター銀行が資金提供し、ブリッジフォースマイルが運用する返済不要の奨学金です。
金トシプログラムによって、お金を管理するチカラをつけながら、毎月の奨学金を受け取ります。

Bridge for Smile × TOKYO STAR BANK 東京スター銀行

※プログラムの募集要項チラシ



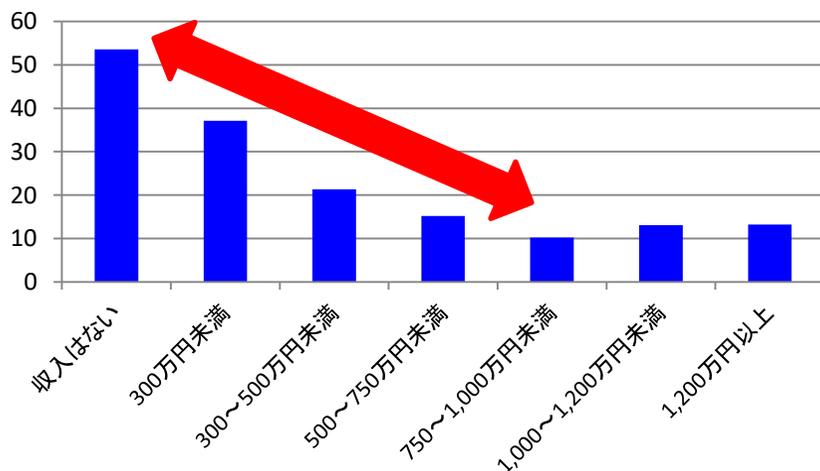
施設・NPOでの「お金のスタートレーニング」

- 目的** 「子どもの貧困」の連鎖の解決に向けた、金融リテラシーの展開
- 目標** 子どもたちが将来、自律的な「収支管理・ライフプランの立案・職業選択」をでき、自信と希望を持って、職業生活・家庭生活を送ることができる
- 実施内容** 子ども支援を行っているNPO、施設などへの、子ども・若者、養育者向けのワークショップ講座

低年収世帯ほど金銭管理意識が低い

「現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない」

と答えた割合



家計の金融行動に関する世論調査 (2016 金融広報中央委員会)

<起こりがちなトラブルの事例>

無計画に使ってしまう親の金銭感覚の乱れ

奨学金や支度金を使い切るなど収支管理ができずに、生活が立ちいかなくなる

親子で買い物に行く、お小遣いを使った指導など、日常での機会の不足

詐欺、ギャンブル、借金などトラブルに巻き込まれやすい

進学費用や奨学金の情報や指導が不足し、子どもが選択肢を持たない



子ども虐待防止「オレンジリボン・キャンペーン」

オレンジリボンとは、子ども虐待防止のシンボルマークです。
このオレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

オレンジリボンを広めることで、子どもと家族の笑顔を守り、
子育てをする親へ温かいまなざしを向けられる社会となることを目指しています。
毎年11月に「オレンジリボン・キャンペーン」として本支店での啓蒙活動を実施しています。

毎年11月

私たちにできること

- 1 まずは「見守る」ことからはじめませんか。
子育てする親への温かいまなざしが子どもを救います。
- 2 虐待に気づいたら、子育てに悩んだら、
児童相談所全国共通ダイヤル「189」(いちはやく)へ相談を。
- 3 虐待を受けて保護された子どもと家族のように暮らす、
里親制度が広がっています。

